

平成 26 年 3 月 25 日

システムデザイン学部・研究科
授業担当教員(常勤・非常勤) 各位

FD 部会(学部・研究科)委員長 金子 新

平成 25 年度後期授業改善アンケート集計結果の概要

日頃から、本学部・研究科の FD 活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

後期授業にて実施いたしました『授業改善のためのアンケート(学生用)』および『授業改善に関するアンケート(教員用)』集計結果の概要が完成いたしましたのでお知らせいたします。

今後の授業改善のためにお役立ていただければ幸いです。

- 1 実施主体 システムデザイン学部・研究科 FD 部会
2 実施対象 システムデザイン学部・システムデザイン研究科
日野及び南大沢キャンパス後期開講「専門教育科目」及び「専攻科目」
※実験科目・演習科目・集中授業科目を除く
3 実施期間 平成 26 年 1 月 6 日(月)～平成 26 年 2 月 4 日(火)

4 対象・回収数・回収率

(1) 学部

	対 象		回収数	回収率(※1)	H25 前期	H24 後期
学生	授業数	89 クラス	74	83.1%	85.7%	89.2%
	履修登録者数	3,674 名	2,375	64.6%	65.1%	65.7%
	アンケート回収クラスの 履修登録者数	3,003 名	2,375	79.1%	74.5%	74.6%
教員	授業担当教員数	99 名	71	71.7%	74.8%	77.4%

(2) 研究科

	対 象		回収数	回収率(※1)	H25 前期	H24 後期
学生	授業数	36 クラス	33	91.7%	84.6%	78.4%
	履修登録者数	503 名	323	64.2%	60.4%	52.8%
	アンケート回収クラスの 履修登録者数	479 名	323	67.4%	70.5%	64.5%
教員	授業担当教員数	38 名	33	86.8%	76.7%	78.9%

※1 「回収率」は小数点第2位を四捨五入しています。

【担当】
事務局(日野キャンパス管理部学務課教務係)
堀・福澤
TEL: 042-585-8611(直通) 内線: 2107

平成 25 年度後期授業改善アンケート（平成 25 年度後期）について

FD 部会（学部・研究科）委員長 金子 新

平成 25 年度後期の授業改善アンケートにご協力頂きまして、ありがとうございました。アンケートの回収率は、大学院（研究科）については 91.7%（前年比 13%増）と非常に高い数値であったのに対して、学部では 83.1%（前年比 6%減）と前年度から減少が続いております。当該アンケートは、教育の状況を把握するうえで貴重な情報となりますので、学生への啓もう活動も含めて先生方の一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

個々の授業に対する集計結果や自由記述欄の内容については、例年の方法に従ってまとめております。今年度後期は以下のような特徴となっております。これらの集計結果が次年度以降の授業のご参考になれば幸いです。

- 1) 前年度後期のアンケート結果と比較すると、学部の授業ではほぼ全ての設問でポイントが上がっているが、大学院の授業では全体的にポイントが下がっています。大学院の授業に対する満足度がやや低下していることは考慮する必要がある。
- 2) 大学院アンケートの設問 4（資料や板書は見やすく、内容も理解しやすかったですか）と設問 7（授業全体を振り返って、あなたはこの授業を理解できましたか）では、前年度よりも大きくポイントが下がっており、大学院講義での資料や進め方に工夫が必要と考えられる。
- 3) 学部アンケートの設問 2（授業の目的と応用分野に関する説明はありましたか）では、従来は 30%程度を推移していた“どちらとも言えない”という回答が、今回は 30%以下となっている。各授業での説明が改善された結果であると考えられる。
- 4) 学部アンケートの設問 4（資料や板書は見やすく、内容も理解しやすかったですか）は、前年度と同程度のポイントだったが、自由記述解答には“板書やスライドが見にくい”や“資料の字が小さい”などの意見が多数寄せられている。板書や資料の見せ方に関して、学生の要求が厳しくなっていると考えられる。
- 5) 学部アンケートの設問 5（教員が熱意をもって授業を行っていると感じましたか）は、ここ数年増加傾向にあり、各教員の熱意が学生に伝わっていると考えられる。
- 6) 学部アンケートの設問 7（授業全体を振り返って、あなたはこの授業を理解できましたか）はほぼ横ばいであるが、“難しかった”や“進みが早い”などの回答も多く見受けられ、理解度の低い学生がやや増加している可能性がある。
- 7) 設問 10（授業にどの程度出席しましたか）では、「全て出席」または「欠席 1 回程度」と回答が増加しており、全体的に出席数が増加傾向をたどっている。

以上